



## 喜多埜

## ひな人形

女の子がお生まれになられたら、その子が初めて迎える三月三日は、特に初節句といい、ひな人形を飾り、その子の成長と健康をお祈りしてご家族でお祝いします。近年は核家族化が進みすぎた為か、そういった「お節句」を祖父母も交えてお祝いする家庭が減り、用意の面倒臭さから、せっかく買ったひな人形も次の年からは出さない家庭もあるようです。

このひな人形ですが、テレビなどでも放映されていますように、元々はお祓いを意味する「流し雛」が原初の形であったと考えられ、それが平安時代以降に公家の子女の雅やかな遊びとされた「ひいな遊び(お人形遊び)」が結びつき、近世以降に飾り立てる今のひな祭りになったと考えられています。

そういった経緯から女の子の節句とされるようになり、それら人形の出し入れは女の子にさせる事により、物の整理整頓を幼少から身につけさせ、ひいては物を大事にする心を養う意味もありました。ですので、三月三日を過ぎて「ひな人形を飾っているとお嫁に行けない」という俗説は、「物の整理も出来ないようではお嫁に出せない」という意味でもある訳です。

近年、子育ては学校に任せきり、食事も出来合に任せきり、遊びと買物に夢中で、物の整理整頓も出来ない、体は大人、頭は子供のままの主婦が多いといわれています。家庭の年中行事がもつ意味をいま一度鑑み、ひな人形を出してあげてみられては如何でしょう。

## 三月二十日は茶屋町に

今月二十日から三十日までの十日間、茶屋町の御旅社界隈の店々では菜の花を籠に入れて飾り立て、かつて与謝蕪村がこの茶屋町で「菜の花や月は東に日は西に」と詠った菜の花の景色を小規模ながらも蘇らせる取り組みを通じてまちづくりを進め、歴史文化の再発掘・再発信を行う試みが行われます。初日の二十日には御旅社にてダムニエンという珍しい楽器の演奏や落語会も予定されています。この機会にどうぞ茶屋町にお立ち寄り下さい。(演奏時間は御旅社迄お問い合わせ下さい)

## 三月の旬

神事の際などに神さまにお供えする食べ物等の事を神饌(しんせん)といい、米・酒・塩・水などのお供え物が基本の神饌となります。

本来、順番や置き方など色々作法がありますが、古来より日々の感謝を込めて「旬のもの」をお供えする素直な心根こそが、神さまが一番お喜びになれるといわれています。

この三月に旬を迎えるものとして、

## 【野菜】

菜の花、山菜類、ひじき、アスパラガス

## 【果物】

イチゴ、キウイ、中晩柑橘類、小玉すいか

## 【魚介類】

ホタルイカ、鯛(桜鯛)、ハマグリ、ニシン

## 【その他】

牛乳が美味な季節とされ、愈々春らしい気候となります。花粉症にはお気を付け下さい。

## 神社携帯サイトのQRコード



ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応

編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

